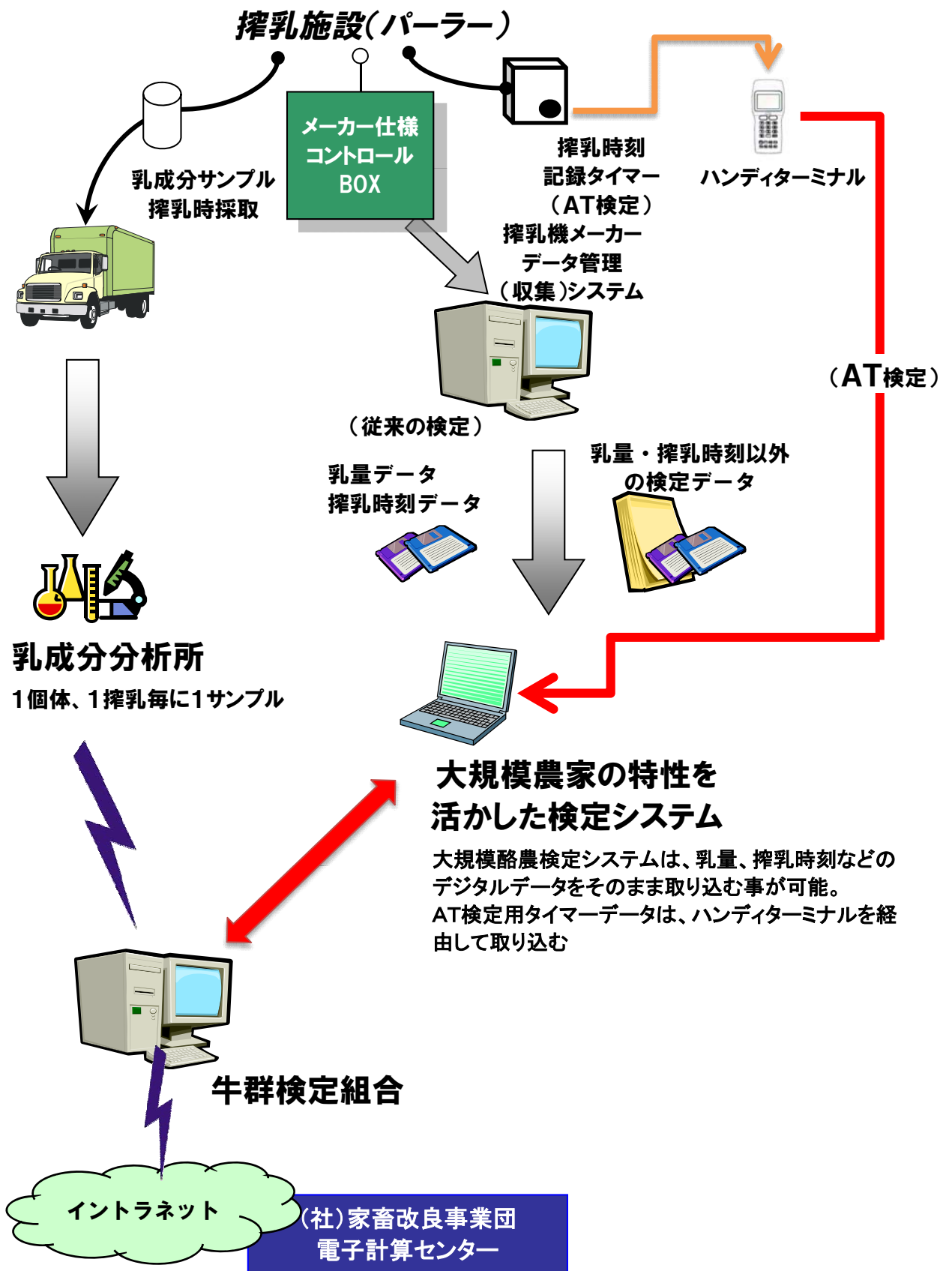
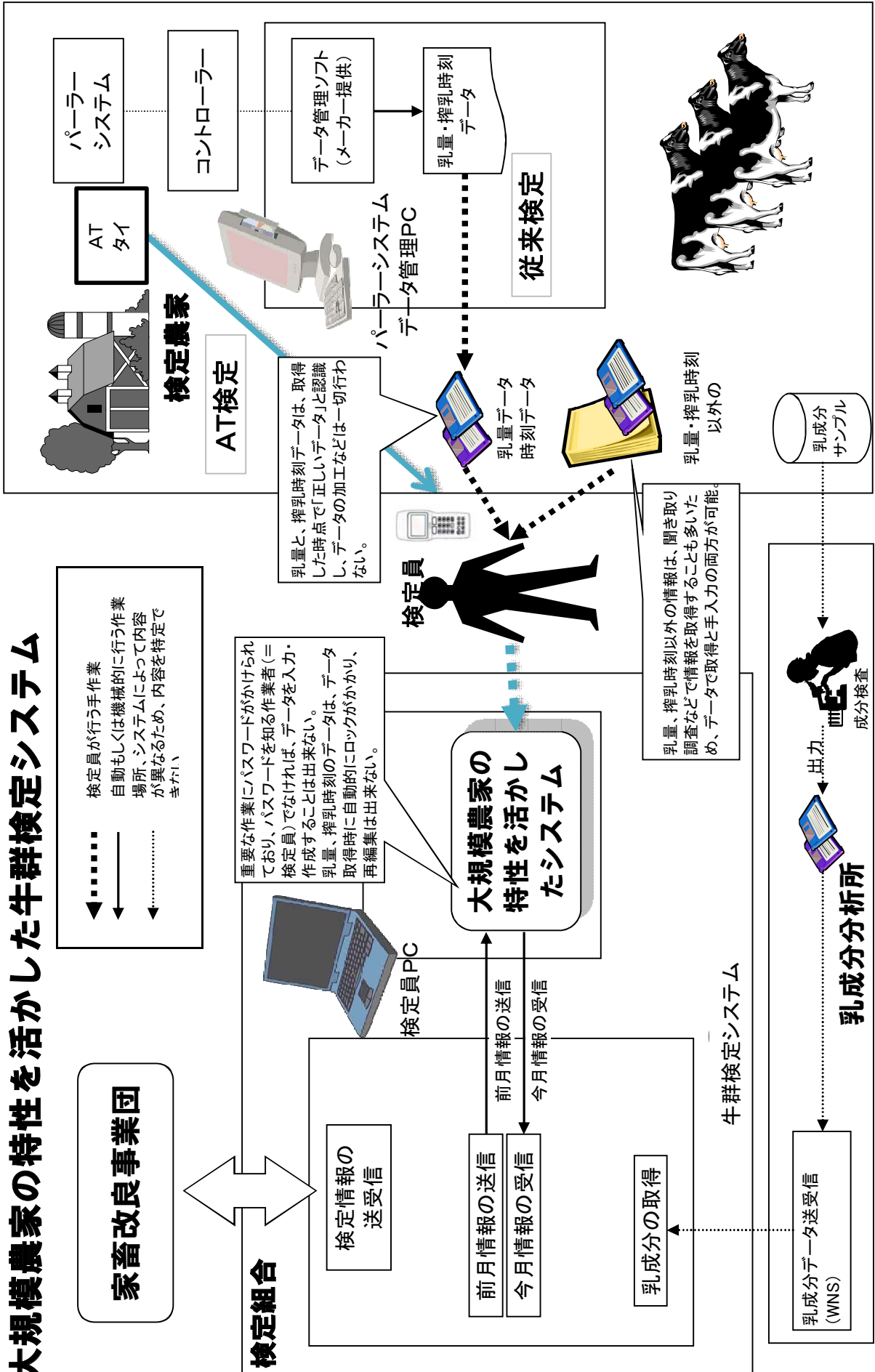


大規模農家の特性を活かした牛群検定システム(データの流れ)



大規模農家の特性を活かした牛群検定システム



大規模農家の特性を活かしたシステムを導入している農家一覧

大規模農家の特性を活かした牛群検定システム整備事業として、大規模農家の搾乳施設において記録される毎日の乳量や搾乳時刻などのデータを利用し、従来のA4検定とAT検定を合わせたより精度が高く、効率的な検定システムを以下の検定農家に整備した。

導入県	検定種別	頭数	管理システム	備考
北海道	A T	389	デーリィプラン牛群管理システム Ver. 5 / Ver. 21	
北海道	A T	155	デーリィプラン牛群管理システム Ver. 5 / Ver. 21	
北海道	A T	347	デーリィプラン牛群管理システム Ver. 5 / Ver. 21	
北海道	A T	205	デーリィプラン牛群管理システム Ver. 5 / Ver. 21	
北海道	A T	169	キャトルコード 総合管理システム VC4 X-PRT / VC4 X-ACT / VC5 X-ACT	
北海道	A T	524	デーリィプラン牛群管理システム Ver. 5 / Ver. 21	
北海道	A T	381	デーリィプラン牛群管理システム Ver. 5 / Ver. 21	
北海道	A T	106	デーリィプラン牛群管理システム Ver. 5 / Ver. 21	
計	8戸	1,752		

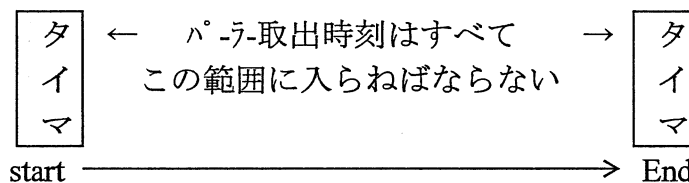
パーラー施設における個体搾乳時刻に関するシミュレーション

1 パーラー施設における個体搾乳時刻の利用(課題)

パーラー施設の個体搾乳時刻管理機能を、牛群検定として用いるには、これまでの搾乳時刻記録タイマーと同様に全国牛群検定推進会議としての認証が必要になる。そのためには認証試験等の時間と費用を要する。

2 シミュレーション(案)

パーラーから時刻を取り出して牛群検定に用いる場合は、パーラーと言えども、タイマーの設置を義務づける。認証を持ったタイマーが、パーラー取り出し時刻を管理することで、間接的にパーラー取り出し時刻をチェックできるので、パーラーへの認証は不要とする。



3 調査

3を試験するにあたり、パーラーにおける時刻管理のシステムを調査する必要がある。

1) 標準時刻への時計あわせ

電波時計? PCでのインターネットによる自動時計あわせ? 手動?

2) 個体別搾乳時刻管理のタイミング

ミルクカー装着時、離脱時、パーラーへの入出場、等の時刻

3) その他

(参考)パーラー施設における個体搾乳時刻の有効性

パーラーにおける個体別搾乳時刻の管理機能を牛群検定に利用することができれば、以下のような検定精度の向上を図ることができる。

1) AT法

搾乳順位の入れ替えによる1日乳量の推定誤差の軽減できる。

また、3回搾乳の管理できる。

2) 乳成分AT

通常のAT法と同様に夜朝一方の立会を行うが、パーラーに管理されている搾乳ごとの時刻と乳量を利用することで、乳成分のみのAT法が実施可能になる。これまでのAT法より高精度を期待できる。

3) 自家検定

時刻を管理することで、自家検定におけるデータの客観性を保つ可能性がある。